

## 組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。  
 ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。  
 保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に  
 保管してください。

### 安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



**警告**

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



**注意**

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

- お守りいただく内容を示しています



**禁止**

「行ってはいけない」内容です。



**必ず守る**

「行わなければならない」内容です。

### 注意

- 組立および設置時の注意

必ず守る	組立、設置、移動は2人以上で行ってください。移動する時は引きずらず持ち上げて運んでください。 →ケガをしたり、破損したり、建物の内装を傷つける恐れがあります。
禁止	組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。
必ず守る	水平で平滑な床面に設置してください。 →不安定な場所に設置すると、がたついたり転倒や引出しの開閉に支障が出る恐れがあります。
禁止	説明書に記載されている組立パターン以外の組立や改造等はしないでください。 →破損してけがをする恐れがあります。
必ず守る	転倒防止金具が付属されている書棚等を単独で使用する場合、必ず転倒防止金具を使って書棚を壁 または柱などへ固定してください。 →転倒して破損したり、けがをする恐れがあります。
禁止	直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。
必ず守る	組立のパターンによって使用しない部品や部材が残る場合があります。 →紛失しないよう大切に保管してください。

- 天然木の製品は木目柄、色に多少のばらつきがあります。  
このため展示品とお届け品では木目柄、色が異なる場合があります。

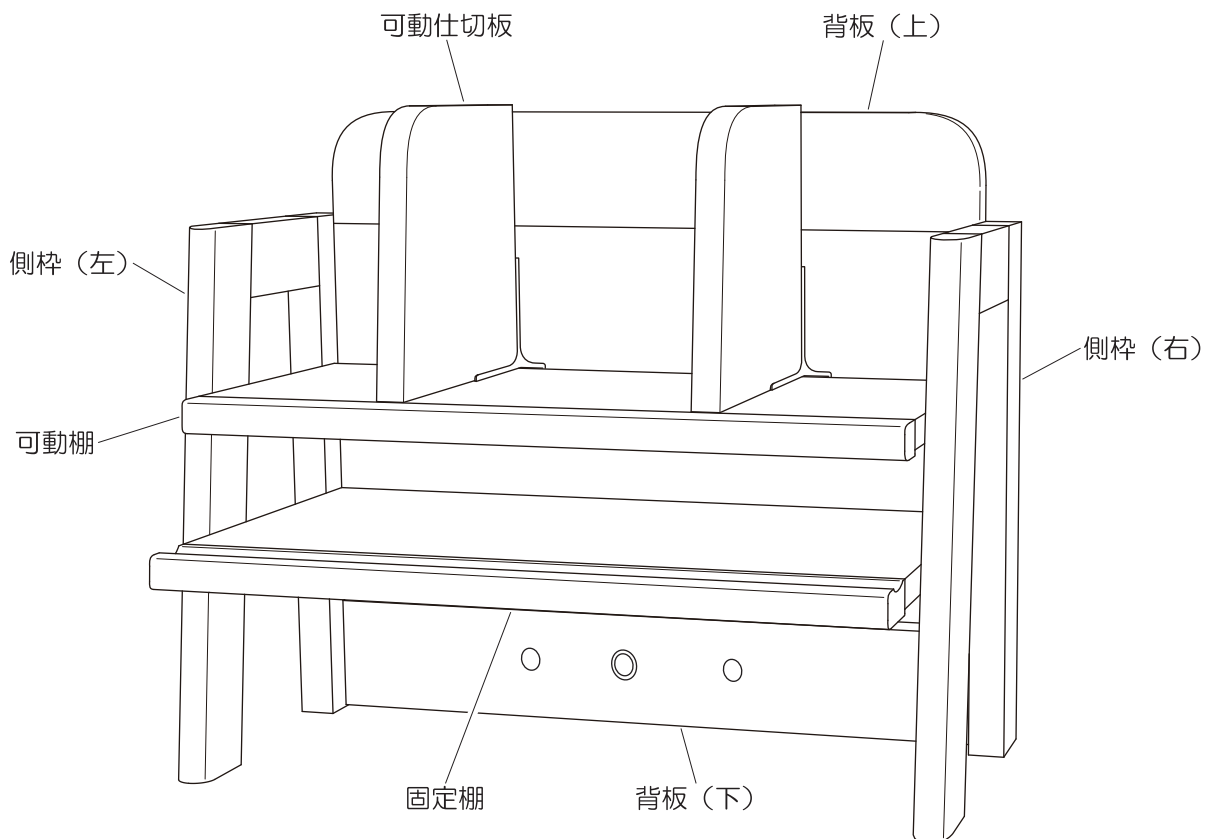
cotoa

デスクシェルフ

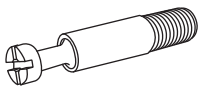
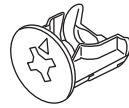
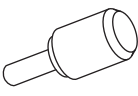

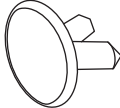
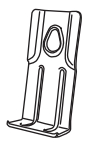
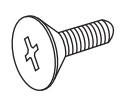
【品番】 FNA-303 MO

# 各部の名称

※イラストは共通化していますので、現物と一部異なる場合があります。

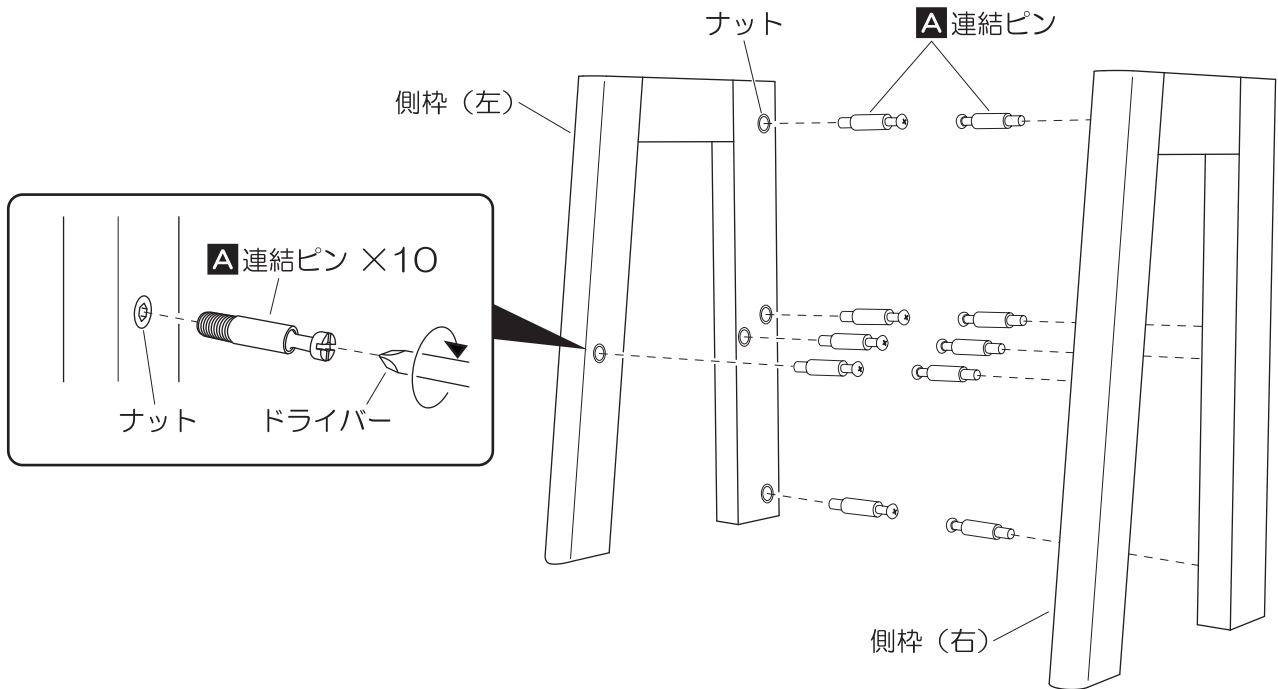


# 付属品

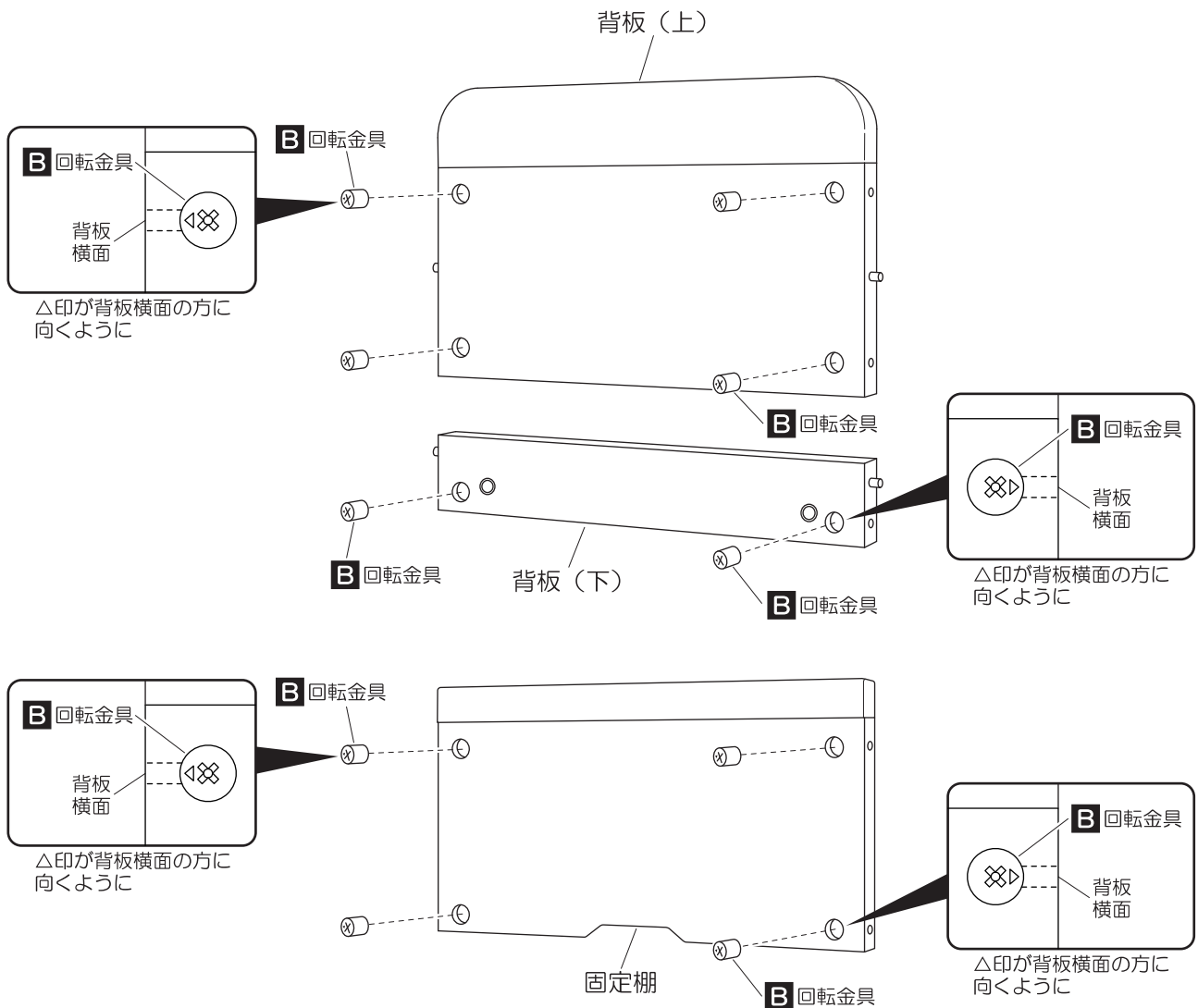
<p><b>A</b> 連結ピン</p>  <p>SZC8MB605 ×10</p>	<p><b>B</b> 回転金具</p>  <p>SZC8MKN18 ×10</p>	<p><b>C</b> 棚ダボ</p>  <p>SZCTTD850 ×4</p>	<p><b>D</b> ナットキャップ</p>  <p>SZC4DC17V ×1</p>	<p><b>E</b> 穴隠しキャップ</p>  <p>SZC9AC18V ×2</p>
<p><b>F</b> 連結金具</p>  <p>SZC6GKSU1 ×2</p>	<p><b>G</b> 皿ボルト (M6×16mm)</p>  <p>KSK660616 ×2</p>	<p>※枠内の9桁表記は、部品品番となります。</p> <p>① 小さな部品の取扱いには十分ご注意ください。 → お子様飲み込むことがあります。</p>		

# 組立て方法

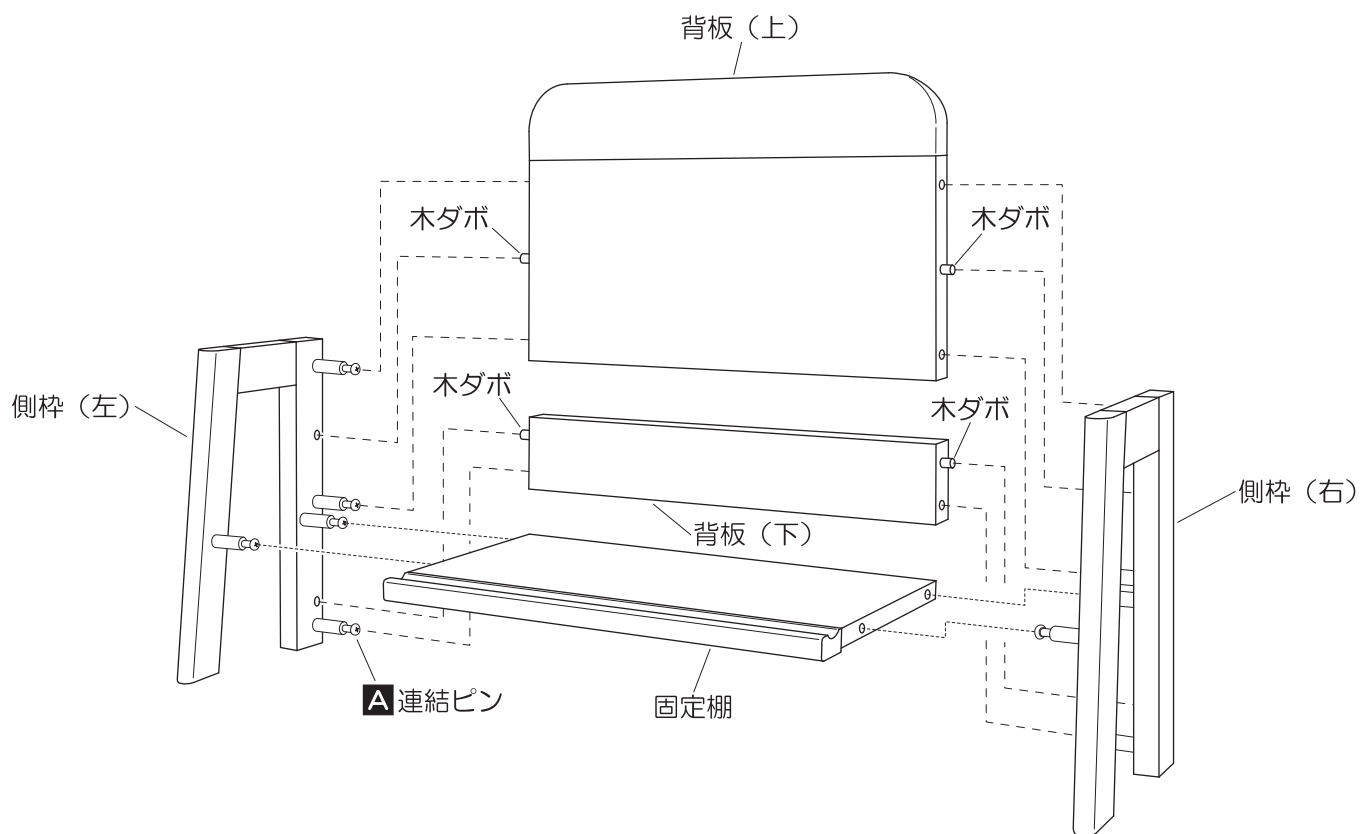
## 1 連結ピンの取付け



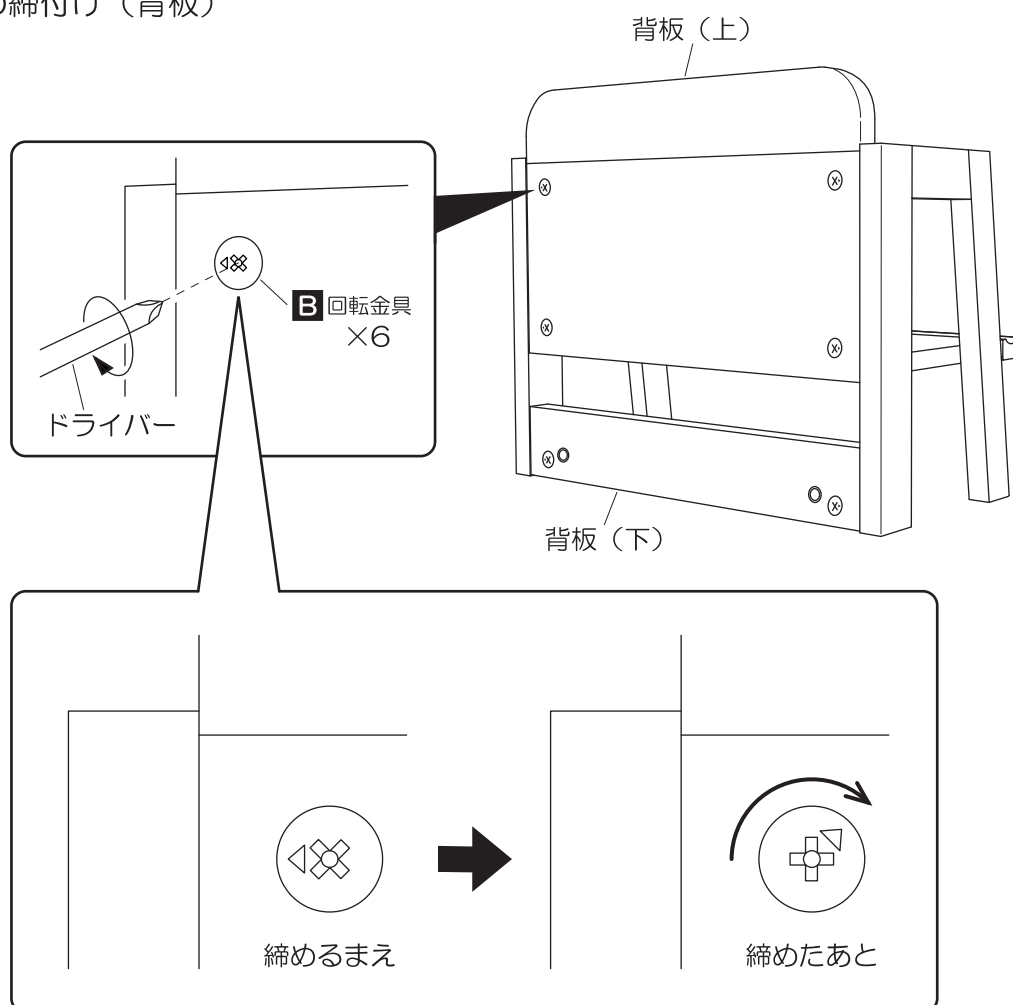
## 2 回転金具の取付け



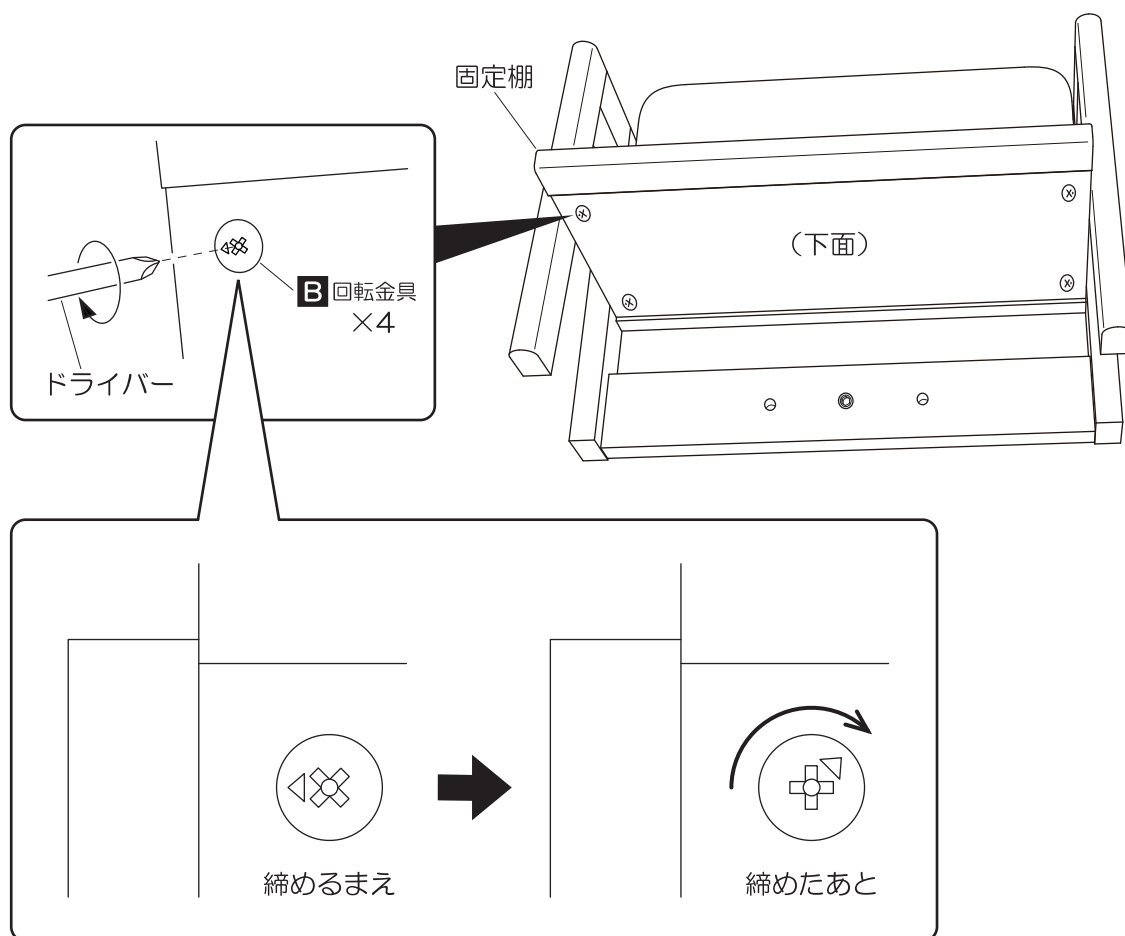
### 3 側脚（左右）と背板（上下）・固定棚の組立て



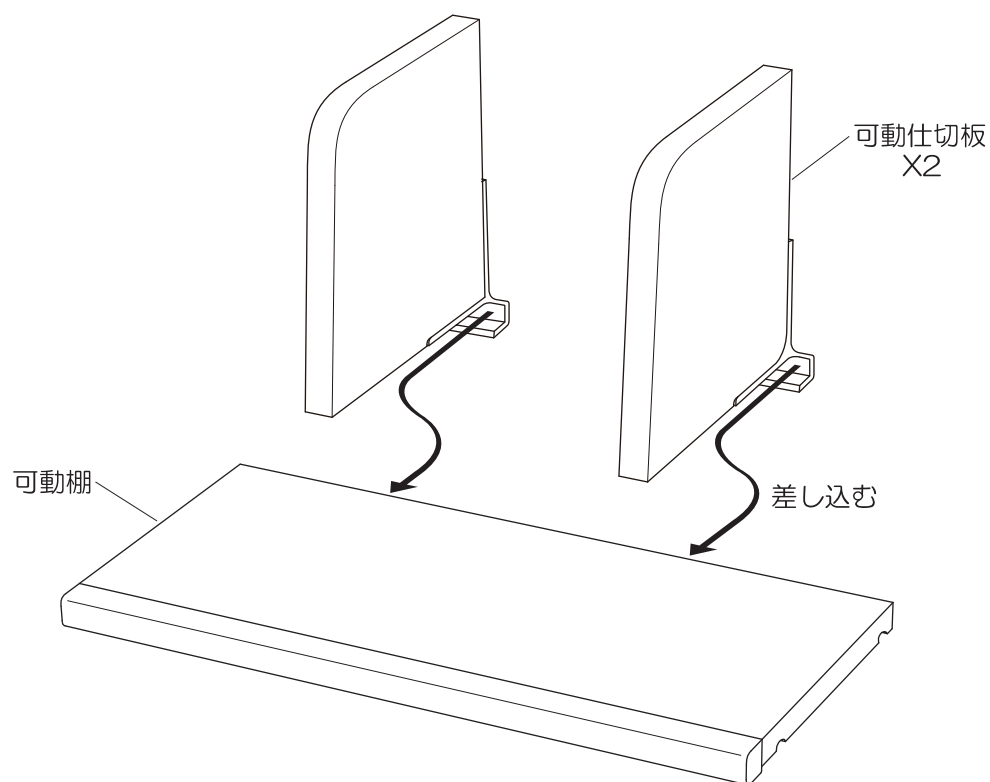
### 4 回転金具の締付け（背板）



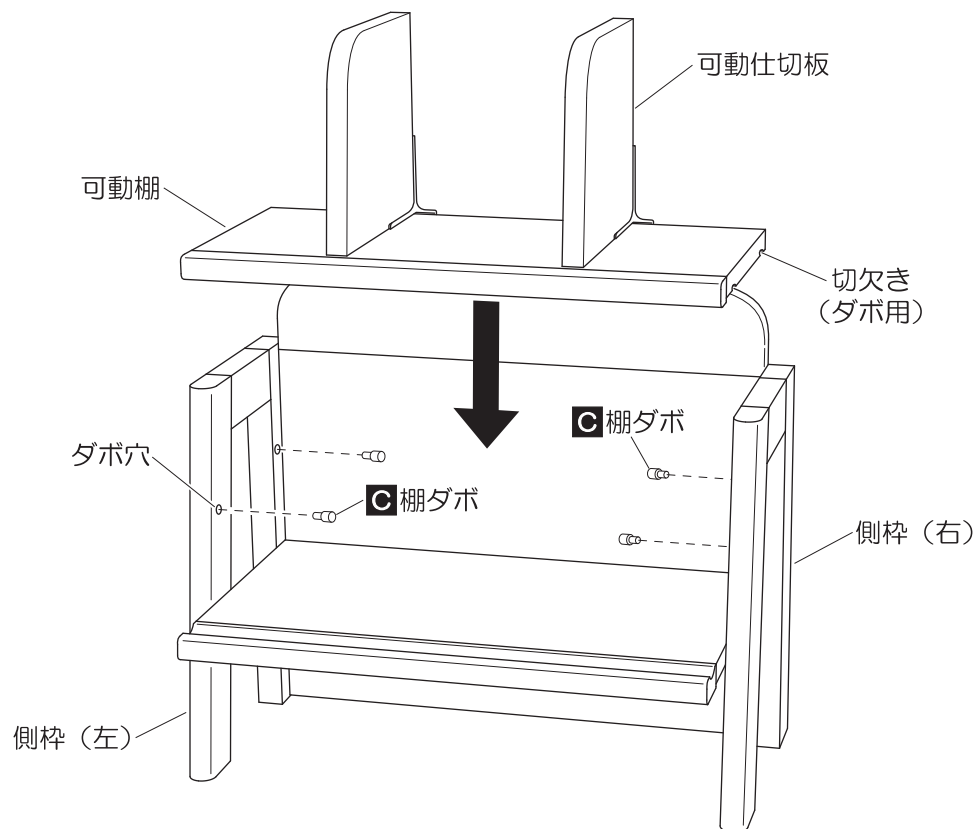
## 5 回転金具の締付け（固定棚）



## 6 可動仕切板の取付け



## 7 可動棚の取付け

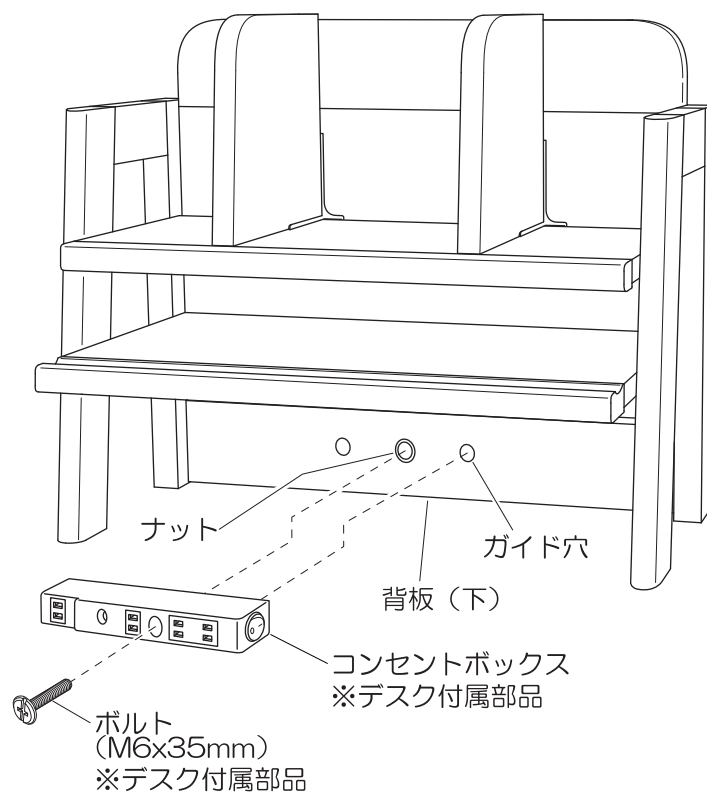


棚ダボは、根元までしっかりと差し込んでください。  
棚ダボが、可動棚の切欠きにしっかりとハマるように可動棚をのせてください。

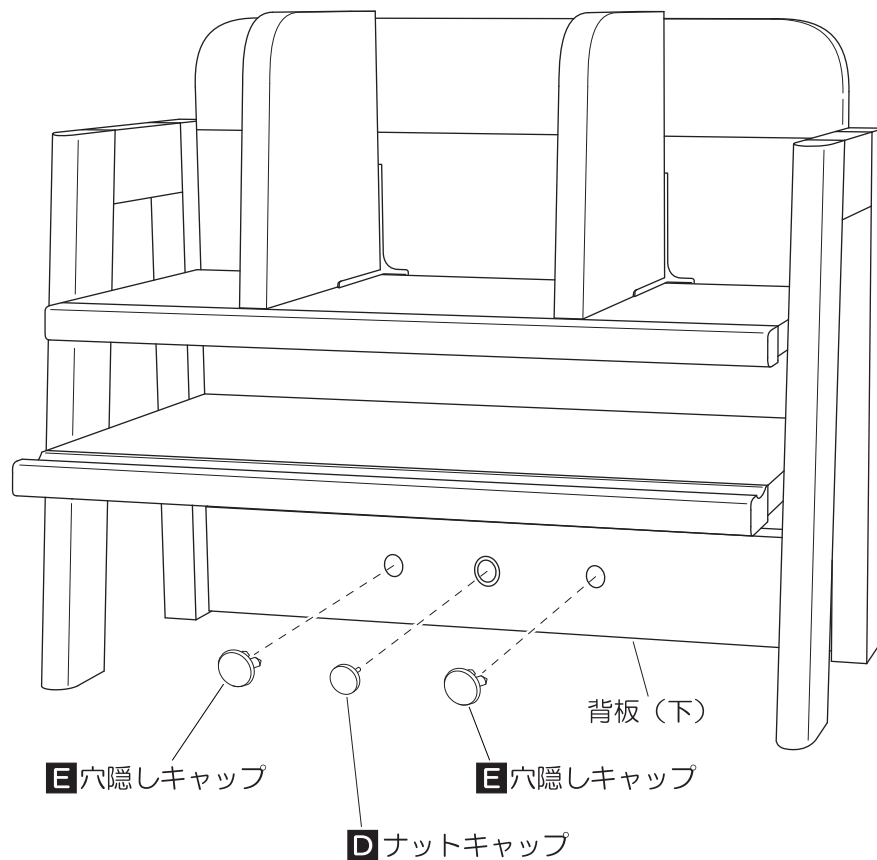
## 8 コンセントボックス（別売デスク付属品）の取付け

デスクに付属しているコンセントボックスとボルト（M6X35mm）を使用して、デスクシェルフの背板（下）前面中央に、取り付けることができます。

コンセントボックスの向きは、左右どちら側に向けても取り付けることができます。



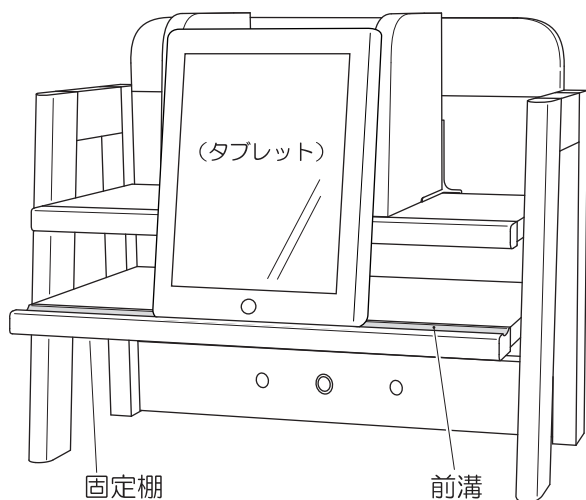
**9** ナットキャップ・穴隠しキャップの取付け  
(コンセントボックスを取付けない場合)



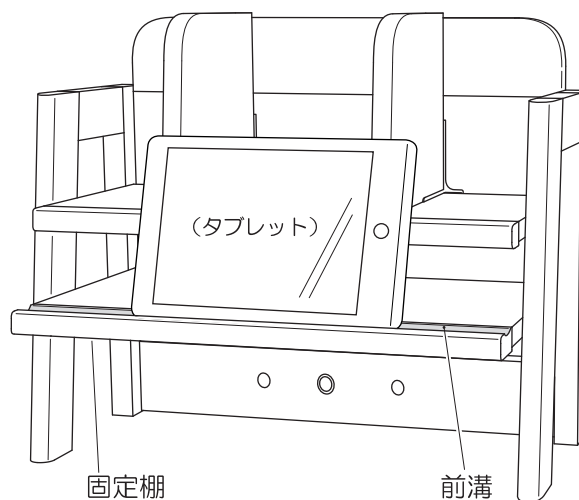
**10** 固定棚のタブレットスタンドとしての使用方法

タブレットを固定棚の前溝にはめ込んで、可動棚にもたれ掛かるように置くことができます。

(タブレット)  
縦置き



(タブレット)  
横置き



- ① タブレットにカバーを装着している場合カバーの大きさ、形によっては安定しない場合がございます。
- ① タブレットの転倒、落下によるタブレットの破損・故障につきましては、一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

# 11 別売デスクへの取付け

❗必ずデスクに固定した状態をご利用ください。  
→ケガや破損の原因になります。

